

質疑応答

説明会概要

2023年11月10日(金)16:00-17:00 (Zoom ウェビナー)

機関投資家・アナリスト向け

質問1. 本日発表の業績修正により、通期営業利益を22.5億円に上方修正された。製造労務費・経費が想定比減少の見通しということだが、これは、多く見積もり過ぎていたのか、業績悪化の中で努力して減らしたのか

回答 計画より若干後ろにずれているものがある。例えば固定資産取得の後ろ倒しにより減価償却費も若干減るものがある。旅費交通費については、出張等を抑えており、その分計画より減少することが主要因となる。

質問2. 業績修正後の数値から計算するとQ4の営業利益がQ3比かなり減少するが、その要因は

回答 製造労務費・経費は若干減少する一方、販売管理費は今回の業績上方修正により、業績連動型賞与が若干増加すること、Q3までに発生してなかった修繕費の計上を見込んでいる。そのためQ3よりQ4の営業利益は減少する計画である。

質問3. 修正計画における販売管理費の想定は

回答 通期で、約58.5億円。

質問4. CZシリーズ売上高について、四半期毎に着実に上がってきている。Q2からQ3にかけて上がってきた背景とQ4の見通しについて解説してほしい

回答 上がってきた一番の要因は、サプライチェーンにおいて在庫調整が進んだことにある。パソコンやサーバーの需要が伸びてきたというより、在庫調整がしっかり進んでいる。特に韓国では、コロナ禍で在庫を相当積み上げていたという実態もあった。Q4はわずかに需要がよくなる見通しを立てている。

質問5. 在庫調整が進んだというのは顧客側の製品在庫なのか、御社の薬品在庫なのか

回答 両方。

質問6. 用途別の状況を教えてほしい

回答 全般にはあまりよくない。その中で自動車はそれほど悪くない。パソコンやサーバーの本格的な需要回復の時期ははっきり見えていないが、2024年後半に期待している。

質問7. E X Eがプラスに転じてきた要因は

回答 前年度はテレビを中心にディスプレイが非常に悪かった。Q2から回復してきたが継続性は不透明である。

質問8. 無粗化の時代が2030年から早まった、もしくは遅くなったということはあるか

回答 ごく一部のいわゆる超最先端品には少し早く使われるのではないかという見通しをもっている。

質問9. 北九州の新工場の計画遅れは、昨今の資材不足等の影響という理解でいいか

回答 はい。また、需要面でも想定より時間的余力ができ、詳細設計の精査を行いたいということも理由である。供給体勢に影響はない。

質問10. 車向け電子基板ではどの製品が関係するのか

回答 CZやV-Bond。V-Bondのシェアは高くなく、今後の課題である。

質問11. 最近、中国でパッケージ基板が活発化し、装置メーカーからは今まで聞いたことがない会社から話があるということをきくが、御社でもそう感じているか

回答 地域セグメント別で中国の売上が拡大しているので、そう感じる。しっかり与信管理をしてニーズに対応していく方針である。

質問12. ガラスコア基板に関する影響について教えてほしい

回答 コアがガラスになるという話であり、当社の業績に与える影響はほとんどないという認識である。引き続き情報収集に努める。